

氏 名 廣 進梅

学 位 の 種 類 修士 (看護学)

学 位 記 番 号 修士第228号

学 位 授 与 の 要 件 学位規則第3条第1項

学 位 授 与 年 月 日 平成30年 3月 9日

学 位 論 文 題 目 日本の病院に勤めている中国人看護師の現状と課題

審 査 委 員 主査 教授 宮松 直美

副査 教授 喜多 伸幸

副査 講師 坂東 春美

論文内容要旨

※整理番号	233	(ふりがな) 氏 名	と 廣 進 梅
修士論文題目	日本の病院に勤めている中国人看護師の現状と課題		
<p>研究の目的 本研究の目的は、中国人看護師が仕事や生活で抱える問題点や悩み、抱えている将来像などを、インタビューを通じて明らかにすることである。</p> <p>方法 半構成的面接による質的帰納的研究により、日本の病院に勤めている同意を得られた中国人看護師 13 名に中国語でインタビュー調査を行い、得られた結果を中国語で逐語録とした後日本語に翻訳し、日本語の逐語録とした上でデータとして分析した。</p> <p>結果 【文化や医療の違いを経験し学ぶために来日】【日本語に関連した悩み】【文化の違いに関連した悩み】【日本での生活からくる孤独感】【病院からの処遇の改善と支援を希望】【自ら問題や悩みに対して対応】【困難な中でもやりがいを見つけ努力】【自分の目的が達成できずに将来に不安】【日本で経験を生かし未来に自信】の 9 つのカテゴリーが抽出された。</p> <p>考察 日本の病院に勤めている中国人看護師は最初に、【文化や医療の違いを経験し学ぶために来日】し、その後、日本看護師の国家試験を受け、免許を取ってから就職し、【日本語に関連した悩み】や、【文化の違いに関連した悩み】に遭遇し、【日本の生活からくる孤独感】を実感していることが明らかになった。また、この様々な悩みや問題に対して、中国人看護師は【病院から処遇の改善と希望】していることが明らかになった。しかしながら、病院からの支援だけではなく、【自ら問題や悩みに対して対応】することの大切さも自覚していた。そうしながら中国人看護師は仕事をし、【困難な中でもやりがいを見つけ努力】していることが明らかになった。もちろん、【自分の目的が達成できずに将来に不安】を持つこともあるが、【日本での経験を生かし未来に自信】を持つ者もあった。 病院から支援としては、中国人看護師に日本語だけではなく、日中の文化の違いや異文化への適応についても支援をおこなうことが重要であると考えられた。人間関係を良好なものとするために、受け入れる病院は中国人看護師と日本人スタッフとコミュニケーションできる場を作ることが大切である。中国人看護師のメンタルヘルスのサポートのために、精神領域に関して適切なフォローや効果的な相談ができるように、病院側からの支援体制を構築することが大切であると考えられた。本研究から得られた、中国人看護師の将来についての計画の実態をふまえ、より早い段階で彼らがよりよい選択が出来るように、積極的に情報を提供し支援することが必要である。</p> <p>総括 日本の病院に勤めている中国人看護師に対して、半構成的面接法によって、悩みや困難、将来への希望などを聞き取った。得られた結果は、今後中国人看護師が日本で働いていく上での重要な資料となると考えられた。</p>			

- (備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1,200字程度)
2. ※印の欄には記入しないこと。